

第1回地域医療構想調整会議		横浜	川崎	相模原	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	県西
議題		R3.8.2(月)19時～ 開催方法：Web	R3.7.28(水)19時～ 開催方法：対面	R3.8.3(火)19時半～ 開催方法：Web	R3.8.25(水)19時半～ 開催方法：Web	R3.9.7(火)19時～ 開催方法：Web	R3.9.3(金)18時半～ 開催方法：Web	R3.9.8(水)18時～ 開催方法：Web	書面
1	令和3年度地域医療構想調整会議等の運営について	令和3年度の本会議の運営については、事務局提案のとおり了承された（特段の意見なし）							
2	地域の現状について（病床機能の転換についてを含む）	病床機能の転換計画等について報告し、了承された（特段の意見なし）							
3	地域医療支援病院の責務の見直しについて	事務局提案の対応案について協議し、了承された。							
		【主な意見】 ○地域医療支援病院は大学病院、特定機能病院みたいに医者がいるかということ、必ずしもそうではない。他の医療機関まで助けるほどの人的資源はない（相模原） ○具体案が検討できていない現状では、事務局案のとおり責務を定めない方向ですすめていただきたい（県央）							
個別議題									
4	病床整備事前協議について （横浜、相模原、横・三、県央）	事前協議を 「実施する」※	/	事前協議を 「実施しない」	事前協議を 「実施する」	/	/	事前協議を 「実施しない」	/
		【主な意見】 ○病床を募集する際、回復期の病床という定義で募集しているが、それが回復期リハ病棟なのか地域包括ケア病棟なのか。2つの病床の性格は異なることから、どちらか明確な条件をつけることも検討してはどうか（横浜） ○なるべく科学的な根拠に基づく合理的な判断をするため、多面的な統計資料等に基づいて、十分な時間を確保して関係者で議論することが必要である（横浜） ○過年度に配分した病床の整備状況を確認する必要がある（横浜） ○医療従事者の確保が難しくなっている（横浜） ○療養病床については、県域全体の視点も必要である（横浜） ○感染症の感染拡大時に患者を受け入れられる病床を至急整備すべきであり、それ以外の機能の病床を整備する時期ではない（横・三） ○感染症拡大時期において、医療崩壊を防ぐために行政の要請に応じて、感染症患者を受け入れる病床であるということに限定した条件としたい（横・三） ○コロナの影響で今後の受療行動が見通せない（相模原）							
5	病床整備状況について	/	/	/	/	継続して協議することとなった。	/	/	/

※調整会議当日では議論が収束に至らなかったことから、会議後に書面協議を実施し、「実施する」との結論となった。